

## 新・第5次荒尾市総合計画改定版（素案）に関するご意見・ご提案の内容及び対応方針

	ご意見・ご提案の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>平成 30 年度末で小学校の部活動が廃止され社会体育へ移行する中、総合計画には大変革への危機感と KPI 達成のための方策が見えない。荒尾市スポーツ推進基本計画と同様に、スポーツ指導者の育成と活用を総合計画にも明記すべきではないか。</p> <p>現在、小学校によっては「運動部活動の社会体育移行部会検討委員会」が開かれているが、誰が指導するのかといった指導者の問題がある。平日の夕方は指導できる方は限られており、平成 31 年度以降は子どもたちの運動する機会が減少することで、KPI の目標達成は困難となるのではないか。</p> <p>この問題を各小学校に任せるだけでなく、市がリーダーシップをとって、小学校を中心に、体育協会や各競技団体、体育指導員やスポーツクラブなどの関係者と協議を行い、指導者育成等の具体的な対策を実行する必要がある。</p>	<p>本市では、平成 28 年度に「荒尾市児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の在り方検討会」を設置し、学校関係者をはじめ社会体育関係者とも連携を図りながら、児童・生徒にとって適正な運動部活動及びスポーツ活動の推進を図るための協議を行っております。</p> <p>ご指摘のとおり、小学校運動部活動の件につきましては、将来を担う子どもたちの健康・体力の向上のみならず、スポーツを通じた社会性の涵養など、様々な面で重要な事柄であると認識しております。</p> <p>したがいまして、今回のご意見を参考に総合計画における施策「健康・体力の向上」に、小学校運動部活動の平成 31 年度からの社会体育への移行を見据えた、児童生徒のスポーツ活動の推進に関する文言を追加いたします。</p> <p>なお、併せて、県教育委員会の「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」に基づき、児童生徒にとって安心して安定したスポーツ環境の確保に努めてまいります。</p>

<p>2</p> <p>広大な面積を持ち各種スポーツ施設を有する荒尾の宝「運動公園」が総合計画でほとんど触れられていない。</p> <p>運動公園は、各種スポーツ活動の拠点としてだけでなく、経済面、観光面、福祉面でその効用も非常に大きいものがある。</p> <p>例えば、一般道路に出ることなく公園内で安全に市民マラソンが開催できるようなクロスカントリーコースの整備や、全国規模の大会運営、それに伴う来訪者を意識した施設整備、体の不自由な方が気持ちよく安全に散策できるような憩いの場としての木々、花々の植栽など、多角的な視点が施設整備には必要と考える。</p> <p>さらに、熊本地震では大勢の住民が運動公園に避難されてきたことから、地震等の危機管理上の避難所としての機能も重要となる。</p> <p>施設の老朽化に伴い、今後新たな施設整備を行う際には、地域活性化の視点から運動公園を整備し、総合計画にも、何らかの運動公園の活用策の記載をお願いしたい。</p>	<p>荒尾運動公園は、本市中央部に位置する約 28.5 ヘクタールの広大な土地に、市民体育館、陸上競技場、野球場、多目的グラウンド、市民プールなど様々なスポーツ施設が集積する、本市の貴重な地域資源であり、次世代に引き継ぐべき宝であると捉えております。</p> <p>しかしながら、荒尾運動公園には老朽化した施設が複数あり、平成 28 年度末に策定した「荒尾運動公園施設長寿命化計画」に基づき計画的な予防修繕を図りながら、運動公園施設の再配置へ向けた検討を進めております。</p> <p>今後とも、いただいたご意見や活用のご提案を参考とさせていただきながら、都市公園の安全性の確保とともに、生涯スポーツの推進や競技力の向上、健康の維持・増進など、将来にわたり運動公園の魅力を高めてまいります。</p> <p>なお、荒尾運動公園の具体的な施設等の更新につきましては、総合計画の施策である「インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進」や、「スポーツの推進」に基づき推進してまいります。</p>
--	--